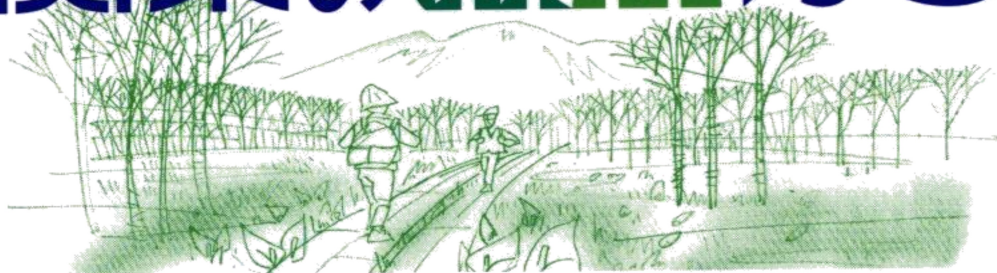


関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25

TEL.027-210-1158

<http://www.rinyamaffgo.jp/kanto/>



「田代山山頂の湿原」(福島県南会津町)

(撮影：関東森林管理局 会津森林管理署 南会津支署)

- ◎ 平成30年度治山・林道工事コンクール表彰式を開催
森林整備課、治山課・・・2
- ◎ 第22回森林(もり)は友達!作文コンクール
東京事務所・・・5
- ◎ 赤谷の森から
赤谷森林ふれあい推進センター・・・6
- ◎ 森づくり最前線
伊豆森林管理署 河津森林事務所 首席森林官 佐藤 将道・・・8

平成30年度治山・林道工事コンクール

表彰式を開催

森林整備課
治山課

治山・林道工事コンクールは、設計・施工技術の向上や関係者の意欲高揚に資することを目的とし、国有林野の公益的機能の発揮や森林・林業の成長産業化に貢献した治山工事・林道工事での模範となるものを毎年度表彰しているものです。

平成30年度は、関東森林管理局管内において前年度に完成した治山工事85件、林道工事21件の内、署等から推薦のあった17件を対象に、学識経験者や林業家など3名の外部有識者を含む審査委員会により、「コスト削減」「技術提案」「環境配慮」のテーマ別に、施工体制、施工状況、出来形、出来ばえ等に着眼し審査を行いました。

深沢復旧治山工事（H28二次補正）（施工者：株式会社武藤組）が農林水産大臣賞を受賞され、そのほかの治山工事1件、林道工事2件が林野庁長官賞を受賞されました。これら受賞4件の工事を、以下に紹介します。

農林水産大臣賞は、前述のとおり吾妻森林管理局管内で施工された深沢復旧治山工事が受賞されました。施工者は株式会社武藤組です。

この工事では、治山ダム（鋼製自在枠）を施工するにあたり、大きな石礫が不安定な状態で堆積している現場条件の悪い場所で掘削斜面における安全対策を徹底するとともに、間詰工の中詰め石を当初設計は購入で見込んでいたものを、施工段階で現地に発生した石を活用する

こととしました。また、水衝部（水が当たる箇所）は現地の巨石を敷並べて構造物の洗掘防止を図り、良好な出来映えとなっており、コスト削減や景観に配慮された施工となっています。さらに、鋼製自在枠に使用する現地に発生した中詰め石について、重量を測定し設計荷重を満たすよう、スケルトンバケツの使用により均一な規格の石を選別し、中詰め石の配置についても独自に検証を行うなど、品質の向上に努められている点も極めて高く評価されました。



深沢復旧治山工事（H28二次補正）

林野庁長官賞の1つ目は、山梨森林管理事務所管内で施工された野呂川小樺沢復旧治山工事です。施工者は小林建設株式会社です。

一般に川幅が広いため長さのある治山ダムは、コンクリートの伸縮の影響を受けるため、一定延長毎に伸縮継目を作ります。伸縮継目を設置するための型枠は通常コンクリート硬化後取り撤去しますが、この工事の現



野呂川小樺沢復旧治山工事

場では、技術的に工夫し打設に影響なく残存させることで、伸縮継目を挟み隣り合う箇所コンクリートを同時に打設することを可能とし、工期の短縮が図られました。また、木材の有効活用により上流側の水抜管の目詰まり防止対策を実施し構造物の機能を高めました。さらに、将来的に残存型杵丸太の剥離を防ぐ観点から、自主的に丸太から角材に変更することで、耐久性の向上が図られ、かつ美観に優れた工事の施工となっていました。これらの点について、技術的に優れていると高く評価されました。

2つ目は、静岡森林管理署管内で施工された大洞第二支線林業専用道新設外工事です。施工者は小野建設株式会社です。

この工事は、スコリア土壌という崩れやすく流出しやすい特殊な土質条件の中で、現地の細かな土質変化に対応した工種の検討・選定、現地支障木の有効的な活用（柵工に利用）がなさ



大洞第二支線林業専用道新設外工事

れています。また、受注者の自主的な提案により、土質に応じて、切土掘削勾配の安定を図るために通常より緩い勾配にして施工されています。これらの点が技術的に優れていると高く評価されました。

3つ目は、東京神奈川森林管理署管内で施工された法行沢林道改良工事です。施工者は河津建設株式会社です。



法行沢林道改良工事（H28二次補正）

この工事は、県立自然公園内での施工で、木材（残存丸太型杵）使用の徹底、環境負荷を軽減するための打継目処理対策（コンクリート硬化の際に打継表面に残存する不純物を沢に出さない）等、環境に対しての多様な配慮がされています。また、景観的に出来映えも良好で、溪流部の修景を図るため綺麗に整地され、施工を取り巻く周辺環境に対する意識の高さが見られました。これらの点が高く評価されました。

農林水産大臣賞、林野庁長官賞については2月20日に林野庁において表彰を受けました。また、関東森林管理局では3月6日（東京事務所）と3月14日（関東森林管理局）において、平成30年度治山・林道工事コンクールの表彰式を開催し、以上の4件のほか、優良な工事として選考された13件の工事に、関東森林管理局長賞を授与しました。また、大臣賞、長官賞を受賞した工事の現場代理人等に関東森林管理局長賞を授与しました。

今後とも表彰制度を継続することにより、森林管理局職員と受注者が、コスト縮減や新たな技術の導入、環境への配慮等を行うため積極的に創意工夫を行い、より良い工事が実施されるよう期待しているところです。





表彰記念写真（関東森林管理局）



表彰記念写真（東京事務所）

農林水産大臣賞

事業別	テーマ	実行署名	工事名	施工者
治山	コスト削減	吾妻森林管理署	ふかさわふつきゅう ちんさん こうじ 深沢復旧治山工事(H28二次補正)	(株)武藤組

林野庁長官賞

事業別	テーマ	実行署名	工事名	施工者
治山	技術提案	山梨森林管理事務所	のろがわかかんばんふつきゅう ちんさん こうじ 野呂川小樺沢復旧治山工事	こぼやしけんせつ 小林建設(株)
林道	技術提案	静岡森林管理署	おおほらだいにしせんにんぎょうせんようどうしんせつこうじ 大洞第二支線林業専用道新設外工事	おのけんせつ 小野建設(株)
林道	環境配慮	東京神奈川森林管理署	ほうぼりやきわりのりんどうかいりょうこうじ 法行沢林道改良工事(H28ゼロ国)	かわづけんせつ 河津建設(株)

関東森林管理局長賞

事業別	テーマ	実行署名	工事名	施工者
治山	コスト削減	日光森林管理署	といし さわふつきゅう ちんさん こうじ 砥石の沢復旧治山工事	(株)吉新組
治山	コスト削減	静岡森林管理署	きたごう ちく つのとりのやま ちんさん こうじ 北郷地区(角取山1)復旧治山工事	きのとうけんせつ 佐野藤建設(株)
治山	技術提案	静岡森林管理署	すばしり ちく かみまつち ちんさん こうじ 須走地区(上真土3)復旧治山工事	(株)木村組
治山	技術提案	静岡森林管理署	すばしり ちく たちやま ちんさん こうじ 須走地区(立山5)復旧治山工事(H28ゼロ国)	おのけんせつ 小野建設(株)
治山	技術提案	東京神奈川森林管理署	よづく ちく すいげんないきせいはこうじ 世附地区水源地域整備工事(H28ゼロ国)	きのとうけんせつ 佐野藤建設(株)
治山	環境配慮	下越森林管理署	はぐろ ちく よぼり ちんさん こうじ 羽黒地区予防治山工事(H28ゼロ国)	(株)小野組
治山	環境配慮	日光森林管理署	さわら ちく さいがいかんれんせんせつこうじ チュウナ沢地区災害関連緊急治山工事	なかむらどけん 中村土建(株)
治山	環境配慮	静岡森林管理署	きたごう ちく おおみか ちんさん こうじ 北郷地区(大御神2・3)復旧治山工事	(株)白鳥建設
治山	環境配慮	大井川治山センター	おおいがわおたまきふつきゅう ちんさん こうじ 大井川大玉沢復旧治山工事	(株)ヤマエイ長島建設
林道	コスト削減	群馬森林管理署	いわおおんぎょう せんよう どうしんせつ こうじ 岩氷林業専用道新設工事(H28ゼロ国)	みやまこうぎょう 三原工業(株)
林道	コスト削減	静岡森林管理署	かみいで だいにしせんにんぎょう せんよう どうしんせつこうじ 上井出第二支線林業専用道外2新設工事(H28二次補正)	きのとうけんせつ 佐野藤建設(株)
林道	環境配慮	群馬森林管理署	もちくさきりんぎょう せんよう どうしんせつ こうじ 持倉沢林業専用道新設工事(H28二次補正)	みやまこうぎょう 宮崎工業(株)
林道	環境配慮	伊豆森林管理署	ながとおしりんぎょう せんよう どうしんせつ こうじ 長通林業専用道新設工事	かわづけんせつ 河津建設(株)

今月の表紙

「田代山山頂の湿原」

(福島県南会津町)

南会津町の田代山は標高1,971m、その山頂は高層湿原となっており、面積の約半分が国有林です。ニッコウキスゲをはじめとする多種多様な高山植物など貴重な生態系を有しており、また、山頂からの雄大な眺望も素晴らしく、尾瀬国立公園にも指定されています。

近隣には尾瀬の大江湿原と燧ヶ岳、会津駒ヶ岳などの名山に名湯、秘湯も数多くあり、魅力あふれる奥会津の自然を楽しめます。これからも地域の方や関係機関と連携しながら国有林を保全してまいります。



森林(もり)は友達！作文コンクール

東京事務所

3月8日、都内のホテルにおいて「第22回森林(もり)は友達！作文コンクール」の表彰式が、受賞者(30名のうち28名出席)と保護者の方々等を合わせ、88名が参加して行われました。

この作文コンクールは、関東森林管理局管内のうち茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県及び静岡県に所在する森林管理署、森林管理事務所及び高尾森林ふれあい推進センターが行った森林教室や体験林業等に参加した小学4～6年生を対象に、体験を通じて感じたこと、思ったこと、学んだことを自ら作文にすることによって、森林・林業に対する理解や関心をより一層深めてもらうことを目的に、「森林作文コンクール実行委員会」(一般社団法人東京林業土木協会と関東森林管理局東京事務所で構成)が毎年度行っているものです。

平成9年から開催されているこの作文コンクールは今年度で22回

目を迎え、これまでの総参加者数は約25千人にも達しています。今回は、21団体(小学校)から過去最高の1,920名の参加がありました。最優秀賞の林野庁長官賞には、「森林と水と人間」と題して、「森林と水と人間はつながっています」という自分自身の考えを明らかにした上で、そのつながりがくずれることを心配するとともに、一人ひとりの努



受賞した高見恵花さん



力がこの現状をくつがえすことができることにポイントを押さえて的確に表現した、横浜市立谷本小学校6年生の高見恵花さんが受賞しました。その他に「森林とふれあう感動」「間伐体験や炭焼き体験での発見」「地球温暖化防止や多様な生物のすみかとしての森林の大切さ」などをテーマとした次代を担う子供たちの作品が受賞しました。(優秀賞11作品、努力賞18作品)

また、寺川東京事務所長から「木について」と題してのミニ森林教室が行われ、「たくさん本を読んで、文書を書くことが大切」「これからも森林を愛して、木を



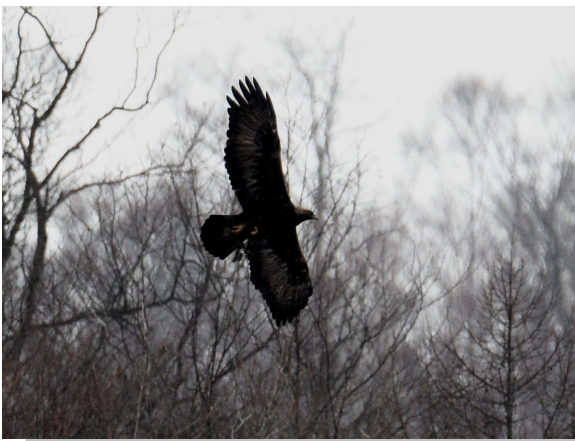
身近に、たくさん使ってください」との話がありました。この作文コンクールは、体験学習を通して、森林・林業の大切な役割について理解を深めてもらうため、これからも続けていくこととしていきます。





【赤谷の森の猛禽類調査】

赤谷プロジェクトの活動では、赤谷の森のエリア内に生息しているイヌワシ・クマタカとクマタカ・ペア（隣接エリアもペア含む）の調査を毎年行っています。この調査を行うチームはASTR（Akaya Special Team for Raptors）と命名し、プロジェクト中核3団体（赤谷プロジェクト、地域協議会、(公財)日本自然保護協会、関東森林管理局）と、一般の方が協力して調査活動を行っています。



赤谷のイヌワシ（撮影者：上田大志氏）

イヌワシは羽を広げると2m近くになる大型の鳥で、全国で500羽程度が生息していると言われています。クマタカも同じく1m70cm程になる大型の猛禽類で、推定で全国に2千羽程生息していると言われています。どちらもレッドデータブック絶滅危惧ⅠB類（近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種）に指定され全国で保護活動が行われています。

この2種類の猛禽類が共に生息し、かく繁殖している地域は珍しく、赤谷の森は大変貴重な生態系といえます。この2種類は生態や利用する環境が大きく異なり、両種が繁殖し続ける生態系は生物多様性に富むと共に、生産性の豊かさを有



クマタカの飛翔（撮影者：阿出川栄次氏）

しているため、それを守りまた向上させることは生物多様性の維持あるいは復元に繋がること期待されます。そのためには、この2種類の猛禽類の科学的な現状評価が必要であり、ASTRによるこれまでの調査で、繁殖ペアの分布区域と繁殖率、営巣環境や食性などが徐々に明らかになっていきます。

ASTR調査はイヌワシとクマタカそれぞれ別に行われ、委託事業によるもの自主的なものを含め年間約50日間の調査を行っています。調査は春先に繁殖したかどうかの確認のため、抱卵や雛への給餌行動等の確認や、夏以降には幼鳥の巣立ちやその後の行動調査、幼鳥が巣から離れてからの食べ物等の残渣調査などを行っています。観察はイヌワシは営巣地の近く、クマタカは巣が見える場所からも行います。ただし、イヌワシもクマタカも非常に繊細な生き物で、特に繁殖期は人間の気配にとても敏感になります。したがって、できるだけ少人数で、また姿が見えないよう気を遣って行う必要があります。なお、営巣場所や観察ポイントの情報、観察マナーを知らない方に広まること子育てや生息に悪影響が出てしまうため、ASTRに参加いただく方には情報管

理について誓約書を書いてから参加いただいています。



見つかった残骸



巣の下で残骸調査

今年度の調査では、イヌフシについてには残念ながら、2016年、2017年の2年連続成功に続いての3年連続の繁殖成功とはならなかったもののクマタカは7ペアのうちエリア内1ペア、隣接1ペアの2ペアが繁殖に成功し雛が巣立ったことが確認されました。

また、昨年6月には、みなかみ町立新治小学校の児童たちも環境学習の一環として巣の中のクマタカの雛の様子などの観察を行いました。

今後も赤谷プロジェクトではイヌフシとクマタカの生息する希有なこの赤谷の森の保全と復元を目指すとともに、地域の豊かな自然と生き



営巣木のモミの木（中央部が巣）

物の未来の守り手である子供たちへの環境教育を支援していきたいと考えています。



クマタカ学習会（新治小学校の子供たち）



きのこ特集

「名がない頃から食べていた?」
ドウシシタケ（食用）

（テングタケ科 テングタケ属）

8月下旬から10月中旬にかけて、主に海岸の松林に散生します。

カサは、4cmから10cm位で表面は、黒色から黒褐色で溝線があり、湿っている時は多少の粘性があります。

ヒダは、離生し白色で縁が黒く縁どられていきます。

柄は、7cmから10cm位で白色の地に黒色のダンダラ模様があり、上部には、灰白色のツバ（内皮膜）があり、根元には、白色の深い袋状のツボ（外被膜）があります。

和名「ドウシシタケ」は、和名が付けられる前から新潟県の紫雲寺地方で、このきのこを「ドウシン」と呼んで食べており、発生場所も紫雲寺地方以外から確認されていなかっ

たことから、地元で呼ばれていた名前をそのまま採用し「ドウシシタケ」という和名が付けられました。



「あなたも舞ってみよう」
マイタケ（食用）

（サルノコシカケ科 マイタケ属）

秋にミズナラ等の広葉樹の根元等に発生します。

カサの色は、黒褐色から黒色、形は扇型で、径は2cmから5cm、縦に重なります（裏は管孔）。

柄は5cmから10cmあります。扇形カサの集合体で大きいものは、直径30cm高さ30cm重さは10kgにもなるものもあります。

和名「マイタケ」は、見つけた人が嬉しさのあまり舞を舞ったことが由来と言われています。



マイタケの老菌
（胞子を飛ばしたあと）

森づくり最前線

伊豆森林管理署

河津森林事務所

首席森林官 佐藤 将道

私が勤務する河津森林事務所は、早咲きの「河津桜発祥の地」として全国的に知られ、毎年2〜3月に開催される桜祭り期間中は100万人以上が来訪するほどの賑わいがある河津町に所在しています。

管轄区域は、伊豆半島を南北に分断する天城山系の南東部に位置する河津町、東伊豆町及び下田市であり、約4,700haの国有林と200haの官行造林地を管理しています。

森林事務所が管理する国有林は、明治維新以前は徳川幕府の所領に属し、その後内務省所管となり、明治22年に御料地に編入されました。昭和22年の林政統一により河津営林署が設置され平成4年には天城営林署との統廃合が行われ、平成13年8月まで河津森林経営センターが置



河津町内の民家にある河津桜の原木

かれていました。同センター廃止後は、それまで営林署等（昭和から平成に変わる時代の職員数約100名）が担ってきた地域の窓口や地元との調整、並びに旧営林署管轄区域の森林事務所の面見役としての機能を当事務所が担い、地域に親しまれる国有林としての管理を行っています。

標高1,000mを超える太平洋に面した天城山系は、年間4,000mmを超える多雨地帯で、稜線部分にはブナを中心とした天然林が広がり、山頂から海岸線まで数十kmと急峻な地形となっています。標高800m以下にはスギを中心とした人工林が造成され、現在では成熟期を迎えています。また、国有林内には昭和天皇在位50年を記念し、天皇陛下にゆかりの深い森林を中



国有林眼下に広がる相模湾と伊豆大島

心に、約1,200haの「昭和の森・天城山自然休養林」が設定されています。休養林内には64種類の野鳥観察が可能と言われる「野鳥の森」も設定され、初心者でも安心なハイキングコース等が整備されています。このように、森林レクリエー



民有林関係者とともシカ防護柵現地検討会



労働基準監督署と合同安全パトロール

シヨンの場として、比較的首都圏から近く、温泉や海水浴などの旅行のついでに手頃に利用できることから、多くの観光客が立ち寄る国有林でもあります。過去には架線集材が主流で皆伐・再造林施業が進められてきたこの地域も、近年は車両系による列状間伐、小面積分散伐採など低コストで効率的な作業システムによる多種多様な森林づくりが求められ、二ホンジカ対策や労働安全の確保と真つ向対峙しながら悪戦苦闘の毎日です。昨年4月には「ユネスコ世界ジオパーク」として認定され、観光客も増えつつあるなかで、訪れる方々に楽しんでもらえるような森づくりを目指して研鑽していければと思っております。



東伊豆町文化財指定のシラヌタ大杉

発行所 関東森林管理局
編集総務課
TEL(027)210-1158
FAX(027)230-1308